

学振第175委員会委員各位

学振第175委員会

モジュール・システム分科会 幹事

学振175委員会 モジュール・システム分科会 主催  
見学会・第3回研究会開催のお知らせ

この度、下記日程にてモジュール・システム分科会第3回研究会を開催する運びとなりました。

本研究会では、北杜市のメガソーラ施設等を見学したのち、甲府市内にて研究会を行います。

7年以上の運用期間を経過した北杜市のメガソーラや、各種先進的な架台・施工方法の実証に取り組むNTTファシリティーズのFソーラーリサーチパークを見学した後、甲府市内に移動し、研究会ではNTTファシリティーズの取り組みをご紹介いただくほか、太陽光発電の架台に関する最新の耐風強度の検討結果について講師を招きご紹介いただきます。

昨今、PVモジュールの飛散事故を報道で多く見かけるようになりました。太陽光発電システム架台の耐風性能は、風荷重の算定にJIS C 8955が広く用いられておりますが、今般、住宅用の陸屋根や寄せ棟において風洞実験を行った結果、現行JISの3倍近い風荷重がかかる場合があることが明らかになりました。日本建築総合試験所の高森様には、この風洞実験の最新の結果について解説いただきます。

今後は、これらの実験結果をふまえてJIS改訂が予定されております。太陽光発電の架台設計に携わる皆様におかれまして、いち早くその重要性をご理解いただく機会となります。

また、奥地建産株式会社 奥地様からは、報道等で大きな問題となった鬼怒川の太陽光発電設備による越水と洪水被害に関する現地調査結果についてもご報告いただく予定であります。

運用中の太陽光発電システムのリスクは自然災害による被害に加え、他者に危害を与えた場合の賠償リスクも無視できないものです。長期間の運用に耐える架台設計やO&M技術について、講師の方々には最新の情報をご提供いただく予定ですので、多くの皆様のご参加をお待ちしております。

## 記

日程： 2015年 11月6日(金)

時間： 12時00分～18時30分(予定)

場所： 山梨県北杜市のメガソーラ(見学会)

山梨県北杜市のFソーラーリサーチパーク(見学会)

KKR甲府ニュー芙蓉(楓(かえで))(研究会) <http://www.fuyo.jp/>

参加費：無料

参加資格：学振175委員会委員、委員代理、および委員の所属する組織のどなたでもご参加出来ます。また、モジュール・システム技術に携わる方のご参加をお勧め致します。

\*1: 同一組織から複数名の参加を認めます

\*2: 学界委員には交通費を支給します。(希望者のみ。代理の場合はおって、代理の方の振込口座をお尋ねします。)

**スケジュール(予定) :**

- 12時 **JR 甲府駅北口に集合**後、バスでメガソーラに向けて移動  
13時～15時 北杜メガソーラ, Fソーラーリサーチパーク等の見学  
15時～16時 甲府市塩部の研究会会場 (KKR 甲府ニュー芙蓉) にバスにて移動  
16時30分～18時30分 KKR 甲府ニュー芙蓉の会議室 (楓の間) にて研究会

**講師 :**

「太陽光発電設備の耐風設計と現状における問題・課題」  
高森 浩治 様 (一般財団法人 日本建築総合試験所)

「地上設置の環境及び地盤と基礎に関すること」  
奥地 誠 様 (奥地建産株式会社)

「太陽光発電時代の到来におけるO&Mビジネスと将来展望」  
田中 良 様 (NTT ファシリティーズ)

**\*研究会終了後、意見交換会を開催します。(参加費 別途徴収)**  
意見交換会終了後、ホテルのバスにて、甲府駅まで送って戴きますので、  
**21時09分発のあずさで、22時36分新宿着に間に合います。**

**参加申し込み締切り :**

**2015年10月26日(月)まで**  
バスの座席に、若干の余裕がございますので、  
ふるってご参加ください。

**《申し込み先》 :**

古川 (175 委員会庶務担当幹事) : furukawa.k.aa@m.titech.ac.jp まで、  
下記事項を御記入の上、お申し込み下さい。

- ①御氏名
- ②所属機関、部署
- ③e-mail アドレス
- ④参加者の区分 (学界委員 (代理を含む)、産業界委員 (代理を含む)、その他)
- ⑤意見交換会の出欠 (別途、参加費をいただきます。)

**《問い合わせ先》 :**

植田 譲  
東京理科大学 工学部 第一部 電気工学科  
TEL: 03-5876-1360  
e-mail: ueda@ee.kagu.tus.ac.jp

以上